

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城球場等 3 スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡西区御開四丁目 16 番	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	スポーツパークパートナーズ本城共同事業体		
	所在地	福岡市南区大池一丁目 23 番 15 号		
指定管理業務の内容		1 管理運営に関する業務 ・ 受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・ 清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・ 事業計画書及び収支計画書の提出 ・ 関係機関との連絡調整 ・ 地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・ イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・ 市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など		
指定期間		平成 27 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。					
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
【所見】					
【利用人員】					
区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
陸上競技場(1)	142,840人	80,523人	94,851人	119,851人	25,000人
野球場(1)	23,965人	26,181人	32,101人	22,773人	▲9,328人
運動場(1)	29,557人	26,816人	27,355人	61,853人	34,498人
計	196,362人	133,520人	154,307人	204,477人	50,170人
目標	202,000人	203,000人	204,000人	205,000人	
要求水準	200,000人	200,000人	200,000人	200,000人	
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度					
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数については、平成30年度と比較して約50,000人の増員となり、目標には届かなかったが、要求水準を上回った。 ・陸上競技場では日本選手権リレー選手大会、福岡県高校サッカー選手権の試合が行われたことが利用者数の増加に繋がったと考えられる。 ・運動場では大会等の専用利用増、ギラヴァンツ北九州少年サッカースクールを開催したことにより増員につながったと考えられる。 ・自主事業については多くの市民がスポーツや健康づくりのための参加機会を創出するためのウォーキング教室、初心者陸上教室、体幹ヨガ教室、スポーツ吹き矢教室、大人サッカー教室を開催した。そして、それらのほとんどに募集人数を越える応募があり、利用者の増加につながった。 ・ホームページの活用によるきめ細やかな情報発信や、SNSを利用し、利用者との積極的なコミュニケーションに努めた。 					
(2) 利用者の満足度					

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

(回答数 490 人)

【施設利用について】

満足度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	99.2% (39.0%・60.2%)	97.3% (34.7%・62.6%)	99.1% (52.4%・46.7%)	93.2% (40.8%・52.4%)

【職員対応について】

満足度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.0% (41.0%・55.0%)	98.8% (34.7%・64.1%)	99.3% (55.5%・43.8%)	96.7% (45.9%・50.8%)

- ・満足度について、職員対応については目標を達成したが、施設利用については目標に届かなかった。
- ・スタッフに対し、ホスピタリティあふれる接遇教育を行い、市民サービスの向上に努めた。
- ・利用者からの苦情や要望に対しても、対応可能なものは迅速に取り組んでおり、その結果も掲示するなど、対応状況が利用者に見える工夫を行っている。また、指定管理外である公園についての苦情も積極的に受け付け、所管課へ報告するなど、適切な処理を行った。
- ・学識経験者、地域住民、利用団体等で構成される運営協議会を毎年開催し、意見交換を行いながら、関係団体等と連携した施設の管理運営を行い、効率的な管理運営に役立っていることは高く評価できる。
- ・行事予定をホームページへの掲載や施設内掲示板への貼り出しを行うなど利用者への情報提供に努めている。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な

取り組みがなされ、その効果があったか。

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
委託料	8,932,080	9,000,072	9,061,635	9,053,241	▲8,394
修繕費	7,582,048	8,611,743	8,553,768	9,415,771	862,003
光熱水費	11,436,424	10,678,257	10,776,702	10,519,398	▲257,304
人件費	23,523,960	23,389,800	23,407,685	23,606,358	198,673
その他経費	11,162,567	10,874,088	10,894,619	10,666,180	▲228,439
合計	62,637,079	62,553,960	62,694,409	63,260,948	566,539

※ ・・・評価対象年度

- ・維持管理経費は例年並みであり、約6,300万円前後を推移している。
- ・職員の適正配置とマルチジョブ化を行うことにより、人件費や委託料の軽減に努めている。また備品や機械の小修繕や芝生の損傷による修繕も職員が自ら行うなどして、経費の軽減に努めている。
- ・施設の落葉による廃棄物処分を少なくするため、近隣住民へ堆肥として落葉の無料配布を行った。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比較
陸上競技場(1)	3,577,720	2,035,115	2,336,525	3,694,722	1,358,197
野球場(1)	1,197,910	1,139,400	1,182,600	1,889,247	706,647
運動場(1)	242,820	321,970	272,245	497,515	225,270
①実収入計	5,018,450	3,496,485	3,791,370	6,081,484	2,290,114
②減免額	4,256,690	3,866,320	4,263,800	3,899,153	▲364,647
③合計(①+②)	9,275,140	7,362,805	8,055,170	9,980,637	1,925,467

※ ・・・評価対象年度

- ・陸上競技場では、各競技団体の専用利用が早く終わった場合などに主催者と協議の上、

- 繰り上げで個人利用開放をすることで、個人利用の促進を促した。
- ・ホームページを活用して、リアルタイムに供用利用日時を情報提供することで、個人利用促進を行い、使用料増額を図った。
 - ・野球場の専用利用がキャンセルになった場合には、直にホームページや掲示板で告知して空いた施設の利用促進を図ると共に、キャンセル待ちで利用可能な団体をリストアップし、空いた施設を告知し、利用を促進する取組みを行っている。
 - ・以上の取組みの成果から、実収入では約 230 万円の増収となった。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・管理責任者に、陸上競技場や芝生の施行管理経験を持つ人材を配置することで、適切な管理運営の実施を図っている。
- ・内部教育として、陸上競技における備品の名称及び保管場所の教育を適時行った。
- ・平成 30 年度に大きな混乱を近隣住民に招いた大規模イベント対応について、大規模大会の開催条件として、駐車場の警備員を配置することを条件とすること、及び各利用団体とともに令和元年度の年間スケジュール表を持参して、事前に混乱の予想される大会を地域の商業施設や近隣住民に公開し、苦情件数を 5 件まで抑えることができた。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・個人情報保護責任者を選任し、個人情報関係資料等の厳重な保管・管理を行っている。
- ・会計報告、モニタリングにおいて不適切な点は見受けられなかった。
- ・安全管理のための指針を作成し、全スタッフの巡回による危険箇所の予測・発見に努め、早期に安全対策を行った。

- ・熱中症対策として、塩飴の無料配布、氷の無料配布、スポットエアコンの配置、熱中症指数モニターによる注意喚起など行っている。また雷対策として雷警報機設置による落雷予防対策を行っている。
- ・「防災計画」を作成して、年2回の消防・防災訓練を実施した。

【総合評価】

〔所見〕

- ・利用者数について、一般利用者の増に加え、日本選手権リレー選手大会、福岡県高校サッカー選手権の試合が行われたことで観客の集客につながり、約5万人の増員に繋がった。
- ・令和元年度の施設利用の満足度について、目標値を上回ることができなかったが、高い水準を維持している。
- ・平成30年度に大きな混乱を近隣住民に招いた大規模イベント対応について、大規模大会の開催条件として、駐車場の警備員を配置することを条件とすること、及び各利用団体とともに令和元年度の年間スケジュール表を持参して、事前に混乱の予想される大会を地域の商業施設や近隣住民に公開し、苦情件数を5件まで抑えることができたのは大きな進歩である。
- ・ウォーキング教室、体幹ヨガ教室、スポーツ吹矢教室、グラウンドゴルフ教室等の様々な自主事業の開催は、利用者に変な好評であり、利用者数の増に貢献している。
- ・今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。